



平成 28 年 10 月 20 日
株式会社 Digital Grid

報道関係者各位

国際協力機構（JICA）からの出資決定
～サブサハラ・アフリカの未電化地域に電気がある暮らしを～

株式会社 Digital Grid（以下「当社」）は、10月19日、国際協力機構（JICA）との間で、当社の第3者割当増資にかかる投資契約を締結しました。本件は、JICAが2012年10月に再開した海外投融資業務において、初のベンチャー企業投資であり、初のサブサハラ・アフリカで実施される事業になります。

当社は、未電化地域の BOP 層（低所得層）を対象とした電力の小売事業「事業名：WASSHA」を展開しており、今回の増資によりタンザニアを中心としたサブサハラでの一層の事業拡大を目指します。

世界中で電気の恩恵を受けていない人口は約 12 億人とされています。特に未電化地域の多いサブサハラ・アフリカのタンザニアでは農村部の電化率はわずか 4 %といわれ、人々は環境や健康に悪影響のある灯油ランプなどを使用しています。

当社はタンザニアを拠点に、「未電化地域の人々の情熱に火をつける」ことをミッションに掲げ、スワヒリ語で「火を灯す」を意味する *washa* という単語から、「WASSHA（ワッシャ）」と名付けた全く新しいオフグリッド太陽光事業を展開しています。

貧しい未電化の村にも必ず 1 つはある日用雑貨店、「キオスク（小売り店）」に太陽光パネルと蓄電池、チャージャーボックスを設置し、キオスクに来店するユーザーに対して、LED ランタンの充電・レンタル、及び携帯電話の充電サービスを提供します。



平成 28 年 10 月 20 日
株式会社 Digital Grid

アフリカの最先端技術であるモバイルマネーと、東京大学発の電力技術であるデジタルグリッドを組み合わせ、使いたい時に使いたい分だけを購入する電気の「量り売り」が可能となり、農村部からの料金回収が容易となりました。

この WASSHA のサービスにより、地域の小売店の夜間営業や新たなビジネス機会の創出、子供の教育時間の増加、灯油ランプを代替することによる家計支出の抑制、健康状況の改善、温室効果ガスの削減等の効果があり、タンザニアの生活を大きく変えています。

当社はこのキオスクを活用したビジネスモデルにより、アフリカ全土へのサービス拡大を図っていきます。

また、アフリカへの進出を検討している日本企業への支援も行っています。将来的には、日本発の製品・サービス・技術を、キオスクを通してアフリカ全土に広げて行きます。

[会社概要]

株式会社 Digital Grid

代表取締役 CEO 秋田 智司 (あきた さとし)

設立 : 2013 年 11 月 28 日

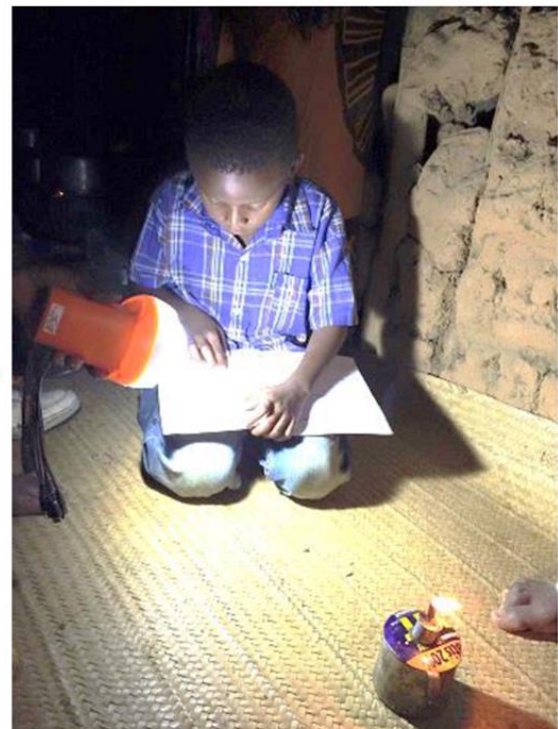
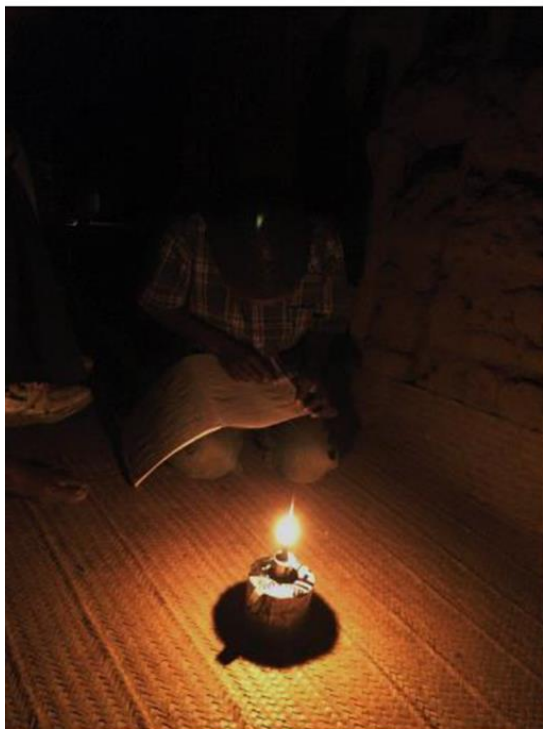
本社住所 : 東京都台東区東上野 3-15-12 上野野本ビル 3 階

ウェブサイト : (コーポレートサイト) <http://www.digitalgrid.com/>

(サービスサイト) <http://wassha.com/>

報道問い合わせ先 : 03-5812-4040

灯油ランプを LED ランタンに置き換えて勉強する様子



LED ランタンをレンタルする
近所の子供たち



LED ランタンを利用して
夜間営業を行う小売店



キオスクオーナーにシステムの説明をする秋田代表

